

テーマ展「書齋の美 一文房具愛玩一」展示作品リスト

通番	作品名称	員数	制作者	制作年代	所蔵
文房と文人					
1	官女遊図	6曲1隻		中国・清時代	当館(井伊家伝来資料)
2	唐詩選書帖	6帖の内2帖	龍草蘆(1715~92)	江戸時代中期	当館(井伊家伝来典籍)
3	硯 銘墨池	1面		江戸時代中期	個人(龍家伝来資料)
4	印章「詩是我家事」 「琴詩書画是我生」	2箇		江戸時代中期	個人(龍家伝来資料)
5	琴	1面		中国・明時代	当館(井伊家伝来資料)
6	碁盤	1面		江戸時代後期	当館(井伊家伝来資料)
7	東坡画冊	1帖	富岡鉄斎(1836~1924)	明治~大正時代	個人
8	五字書「室雅何須大」 「花香不在多」	2幅	日下部鳴鶴(1838~1922)	明治25年(1892年)	当館(石田承玉氏寄贈資料)
文房の雅友 一文房具一					
9	日本書紀	15冊の内1冊	舎人親王(676~735)他編	養老4年(720年)成立、 享和3年(1803年)刊行	当館(井伊家伝来典籍)
10	古梅園墨譜	4冊	松井元泰(1689~1743)	江戸時代中期	当館(井伊家伝来典籍)
11	集古十種のうち 文房	47冊の内2冊	松平定信(1758~1829)他編	江戸時代後期	当館(井伊家伝来典籍)
12	集古図	32点の内1点	藤原貞幹(1732~97)	江戸時代中期成立、 江戸時代中~後期写	当館(井伊家伝来典籍)
13	石製太史硯	1面		中国・明~清時代	当館(井伊家伝来資料) ・関東大震災罹災品)
14	石製猿面硯	1面		江戸時代中~後期	当館(井伊家伝来資料)
15	伝未央宮古瓦硯	1面		中国・清時代	当館(井伊家伝来資料)
16	金字書付瓦硯	1面		江戸時代後期	当館(井伊家伝来資料)
17	青磁陽刻梅龍文透彫硯	1面		中国・明時代	当館(井伊家伝来資料)
18	湖東焼 染付竹芭蕉図筆筒	1口		江戸時代後期	当館(遠城和雄氏寄贈資料)
19	志賀宮古瓦硯	1面		明治時代	当館(石田承玉氏寄贈資料)

通番	作品名称	員数	制作者	制作年代	所蔵
20	古瓦硯寄書	1幅	岡本黄石(1811~98)、 谷鉄臣(1822~1905)、 日下部鳴鶴(1838~1922)他	明治時代	当館(石田承玉氏寄贈資料)
文房具を飾る					
「唐様の室礼 一文房飾一」					
21	君台観左右帳記	1冊		室町時代成立、 江戸時代後期刊行	当館(井伊家伝来典籍)
22	寛政度若君様御成之節御飾付之留	1冊		江戸時代後期	当館(彦根藩井伊家文書)
23	紫水晶鶏諫鼓硯	1面		江戸時代中~後期	当館(井伊家伝来資料)
24	瑪瑙宝袋形硯	1面		江戸時代中~後期	当館(井伊家伝来資料)
25	石製円硯	1面		江戸時代中~後期	当館(井伊家伝来資料)
26	焼締陶波兔陽刻八角陶硯 銘竹生島	1面		江戸時代前期	当館(井伊家伝来資料)
27	金欄手花果文長方硯	1面		江戸時代後期	当館(井伊家伝来資料)
28	埋木象文嵌入硯箱	1合	小川破笠(1663~1747)	江戸時代中期	当館(井伊家伝来資料)
29	唐銅牛牧童水滴	1箇		江戸時代中~後期	当館(井伊家伝来資料)
30	古銅鳳凰文水滴	1箇		江戸時代中~後期	当館(井伊家伝来資料)
31	蠟石桃形肉池	1合		中国・明~清時代	当館(井伊家伝来資料)
32	蠟石山形筆架	1基		江戸時代後期	個人
33	唐人物図硯屏	1基		江戸時代後期	個人
34	湖東焼 赤絵金彩丸文散硯屏	1基	鳴鳳	江戸時代後期	個人
35	真鍮亀鈕印形文鎮	1箇		江戸時代後期	当館(井伊家伝来資料)
36	石製長掛算	2本		江戸時代	当館(井伊家伝来資料)
37	螺鈿楼閣人物図四脚卓	1基		中国・明時代	当館(秋山誠三氏寄贈資料)
38	螺鈿竹鳳凰文文庫	1合		中国・明時代	当館(小倉美津子氏寄贈資料)
「文房具と和の意匠 一金銀蒔絵で彩る一」					
39	我宿蒔絵硯箱	1合		室町時代	当館(井伊家伝来資料)
40	金地花車蒔絵硯箱	1合		江戸時代中~後期	当館(井伊家伝来資料)
41	黒漆塗千鳥蒔絵五重硯箱	1合		江戸時代中~後期	当館(井伊家伝来資料)
42	石山寺蒔絵源氏筆筥	1基		江戸時代前期	当館(井伊家伝来資料)

写真解説

1 官女遊図 6曲1隻 (作品リストNO.1)

各 縦152.8cm 横51.3cm

中国・清時代

当館蔵(井伊家伝来資料)



文人が集い遊び、官女が給仕する様を描いた屏風絵。向かって右より2扇目から3扇目に描かれた机に、墨をする硯すずりや筆を差す筆筒ひつとう、筆を置く筆架ひつか、紙を押さえる文鎮ぶんちん、墨のための水を入れておく水滴らしき小器などが見え、1～2扇目および5扇目に描かれた机には、珍しい形の石や古銅器などが飾られています。詩作し、書をあらわし、絵などを鑑賞する文雅な集いの様子が表されています。



【第3扇目中央部分】

2 伝未央宮古瓦硯 1面 (作品リストNO.15)

縦24.2cm 横17.5cm 厚2.0cm

中国・清時代

当館蔵(井伊家伝来資料)

古瓦を彫って作った硯。表面の中央に、墨をする墨堂ぼくどうや墨汁を溜める墨池ぼくちを彫り込み、周囲に銘文を刻んでいます。裏面には、古代中国の前漢の都、長安の宮殿未央宮びおうきゆうの瓦と伝える銘文めいぶんが刻まれています。

古い由緒のある瓦を用いた硯の制作は、清時代の古物愛玩の流行に端を発し、広く行われるようになりました。本作もまた、このような流行の中で制作されたと考えられます。



3 ^{かんせいどわかざみさまおなりのせつおんかざりつけのどめ} 寛政度若君様御成之節御飾付留 1冊

(作品リストNO. 22)

縦24.8cm 横17.1cm

重要文化財

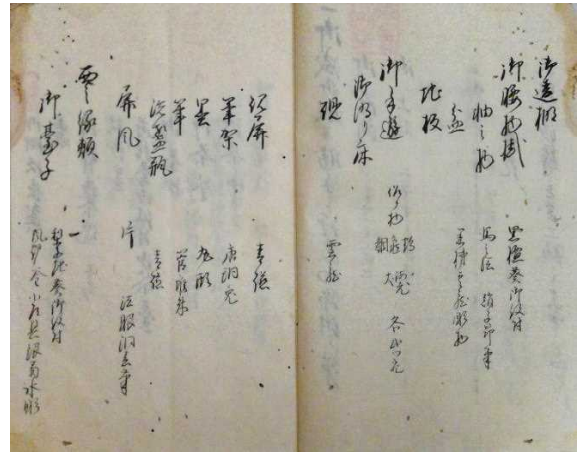
江戸時代後期

当館蔵(彦根藩井伊家文書)

寛政6年(1794年)9月27日、將軍の後継である若君が井伊家を訪問した際に行われた室内の飾り付けの記録です。書画や茶道具に加え、文房具も用いられています。

写真は、「御座所」という格式の高い部屋に設えられた「明り床」という棚に飾られた文房具について記した部分です。

雲龍を表した硯や青磁の硯屏、唐銅製の兔形の筆架、軸に堆朱の装飾をほどこした筆、青磁の水注など、中国の文人の書齋を思わせるような飾り付けであったことがうかがい知られます。



4 ^{むらさきすいしょうにわとりかんこけん} 紫水晶鶏諫鼓硯 1面

(作品リストNO. 23)

最大幅30.2cm 高8.0cm

江戸時代中期～後期

当館蔵(井伊家伝来資料)

紫水晶を彫ってあつらえた豪華な硯。象牙と鼈甲で鼓を象った蓋と鶏型の銀の水注が添えられています。

鳥と太鼓は、中国古代の伝説的な名君堯帝の故事「諫鼓苔むして鳥驚かぬ」に由来する意匠です。諫鼓は、君主に諫言しようとする時に打ち鳴らされる鼓のこと。堯帝の善政により諫鼓が使用されず苔が生えてしまい、鳥も鼓の音に驚くことがなかったというこの故事から、鳥と鼓は、名君によって世の中がよく治まっていることを象徴する組合せとされてきました。



5 ^{ろうせきももがたにくち} 蠟石桃形肉池 1合 (作品リストNO. 31)

最大幅11.2cm 高4.4cm

中国・明～清時代

当館蔵(井伊家伝来資料)

蠟石のような光沢のある岩石である、蠟石を加工して作った肉池。肉池は印肉を入れる容器で、肉入とも呼ばれます。

本作は、古くから魔除けの力を持つと考えられ、文人にも愛されてきた果物である桃の実をかたどった形態です。蓋の表には、可憐な花を咲かせる桃の木が青海波の模様とともに細かに彫り表され、蓋の裏にも、刻線に金を埋め込む沈金という技法で唐花文様が表されています。掌に納まる小器ながら、細工を凝らした優品です。



【底部分】

6 ^{しんちゅうかめつまみいんがたぶんちん} 真鍮亀摘印形文鎮 1箇 (作品リストNO. 35)

最大幅17.5cm 高3.2cm

江戸時代後期

当館蔵(井伊家伝来資料)

亀形の摘^{つまみ}を備えた印^{ぶんちん}を象った文鎮^{あえん}。銅と亜鉛の合金である真鍮^{しんちゅうせい}製です。印面には、中国最古の詩集『詩経』^{しきょう}所収の詩から引用した、君子の長寿と福を讃える句が刻まれています。

文鎮は、紙押さえとも呼ばれる文房具で、紙などが風で飛ばないように、上にのせて重しとする道具です。



【底部銘「君子万年宜其遐福」】

7 ^{らでんろうかくじんぶつずよつあししよく} 螺鈿楼閣人物図四脚卓 一基

(作品リストNO. 37)

縦29.7cm 横51.5cm 高16.3cm

中国・明時代

当館蔵(秋山誠三氏寄贈資料)

井伊家13代直弼の側室^{しずえ}静江の実家である秋山家に伝来した^{しよく}卓。卓は、天板と脚を備えた台である「机」^{つくえ}の中国風の呼称です。

本作は、貝片を貼り付けて模様を表わす^{らでん}螺鈿の技法で、天板^{てんばん}と脚間に張った幕板^{まくいた}の中央に大きく楼閣人物図を表し、縁や四隅に七宝文様^{しっぽう}を細かに表しています。本作は、その華やかな意匠から、実用的なものではなく、筆記具や花、石などを飾る鑑賞用の台として用いられたと考えられます。

